

(別添)

令和8年度コメ新市場開拓等促進事業における多収品種及び高温耐性品種一覧

	多収品種	高温耐性品種
当事業における定義	① 「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」に規定する多収品種、または、 ② 地域の単収よりも概ね1割以上収量が高く、都道府県が多収品種と判断する品種 (②は、品種毎に実証データや論文等により上記が確認できる品種とする。「多収品種の作付拡大に向けた調査」(農林水産省実施)と同じ定義。)	都道府県において、高温にあっても玄米品質や収量が低下しにくい品種であり、地球温暖化による影響に適応することを目的として導入されたものであると都道府県が判断する品種 (「令和6年地球温暖化影響調査レポート」(農林水産省公表)と同じ定義)
「需要に応じた～要領」に規定する多収品種	【①の品種】 ＜国指定品種＞ あきいいな、亜細亜のかおり、いわいだわら、笑みたわわ、えみゆたか、オオナリ、きたげんき、北瑞穂、クサホナミ、たちじょうぶ、ふくのこ、ふくひびき、べこあおば、べこごのみ、北陸193号、ホシアオバ、ミズホチカラ、みなちから、モグモグあおば、もちだわら、モミロマン、夢あおば ＜県の特認品種＞ アキヒカリ、いただき、亀の蔵、新潟次郎、ゆきみのり、ゆきみらい	
県設定品種	【②の品種】 みずほの輝き、ゆきん子舞、つきあかり、あきだわら、ちほみのり、あきあかね、にじのきらめき ※みずほの輝き以外は、令和6年度地域特認メニュー「多収性品種の取組」と同品種	なつほなみ、こしいぶき、新之助、ゆきん子舞、にじのきらめき ※なつほなみ以外は、「令和6年地球温暖化影響調査レポート」に新潟県が報告したものと同品種